

朴炳柱 (弘大工大学長)

目 次

- 1. 構想의 前提
- 2. 都市機能—多核副都心編成
- 3. 土地利用 構想
- 4. 交通体系 構想
  - 1) (主幹線街路의 再定立
  - 2) 鐵道·地下鐵
- 5. 副都心計劃 構想

- 都市計劃·整備의 課題
  - 開發制退区域의 原則的 繼續維持
  - 서울의 人口增加抑制——人口增加率 漸減
  - 서울의 管理中區·産業·文事教育機能의 一部를 地方에 分散 文化的 遺産의 保護
  - 自然環境의 保全 및 레크레이션 機能扩充
  - 既存市街地에 綠地空間 大量確保
  - 土地利用의 純化 및 集約的 利用
  - 土地利用의 効率化
  - 留保地의 確保
  - 將來 都市構造變化에 對備
  - 幹線街路 및 駐車·터미널施設 整備確充拓
  - 步車道分離·步道空間秩序確立·立體交叉·橫斷步道 整備
  - 鐵道 및 地下鐵의 整備扩充
  - 都心部再開發 → 低層過密狀態를 高密化하여 空地確保 (江南優先)
  - 多核副都心開發整備
  - 流通機能의 整備
  - 既存市街地의 洞單位 生活環境 및 便益施設整備
  - 新市街地의 計劃的造成(江北過密住居의 江南移住 誘導 -2000年代를 向한 住居環境의 計劃的造成)
  - 工場地域의 環境整備

1. 構想의 前提

都市性格

- 1) 首都 (南北統一後에도 大韓民國의 首都로서의 機能을 繼續逐行)
- 2) 管理中樞機能
  - 業務商業 및 情報關聯機能 文化·教育機能
  - (서울의 主要機能의 地方分散 以後에도 殘存하는 機能)

構想의 目標年度

→ 2001年

計劃人口 : 800 万人

(現趨勢로서는 1,000 万人 突破豫想)

## 2. 都市機能——多核副都心編成

都心部 行政中心(政府庁舎)  
業務・商業・慰樂・觀光

永登浦・汝矣島 副都心  
立法部(国会) 서울市庁舎  
情報・業務・商業・工業

永東副都心 司法庁

綜合버스터미날・商業・業務・教育・文化

蚕室 副都心

綜合運動場・流通센터(都売機能)

清涼里

新村

水踰里

仙光

禾谷

副都心

"

"

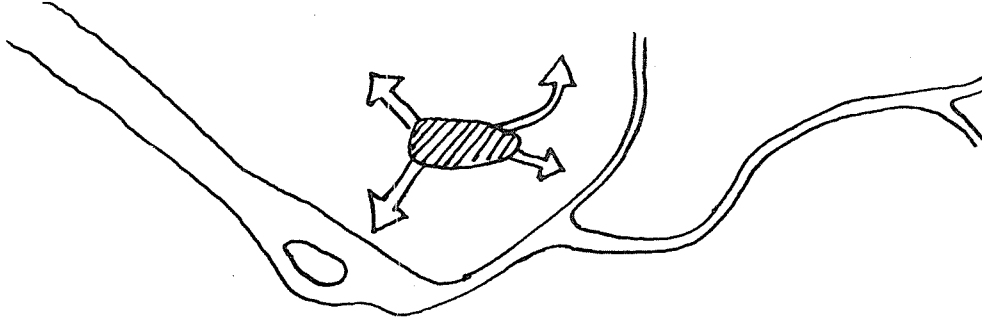
"

"

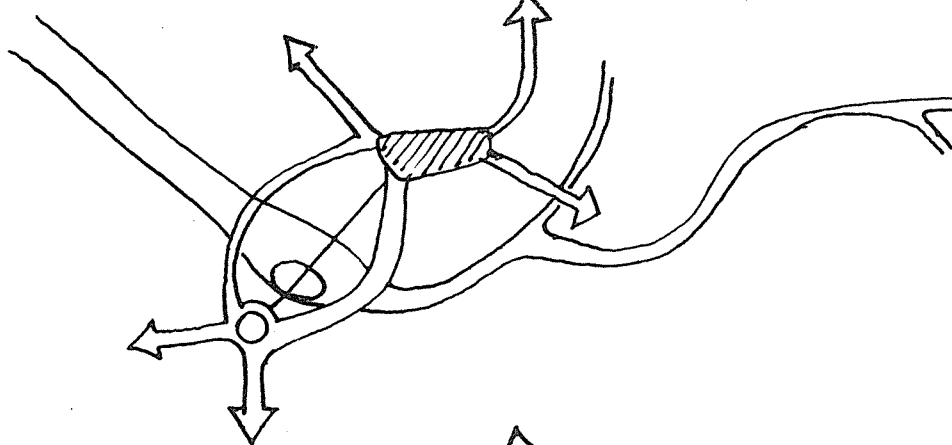
周辺地区中心

### 市街化趨勢

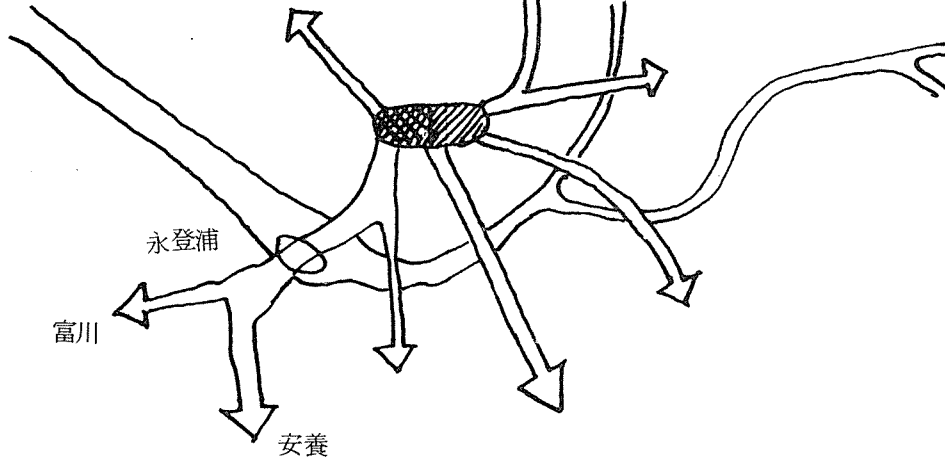
□ 1930年代



□ 1930-1960年代



□ 1970年代



### 3. 土地利用構想

市街化計劃 対象

現 開發制限区域(그린벨트)内部

光化門中心 15km圏

- 標高 約 70M以下
- 自然環境保護・保全区域 除外
- 文化遺蹟地 除外

既存市街地 土地利用提高(用途規制의 強化)

新市街地의 計劃的・段階的 開發

- 漢江以南 優先開發
- 아파트地區 設定
- 住居団地의 計劃的 開發  
過密아닌 適正環境 空間確保
- 市街化 可能地域中 留保地區設定(將來 都市構造 變化에 對備)

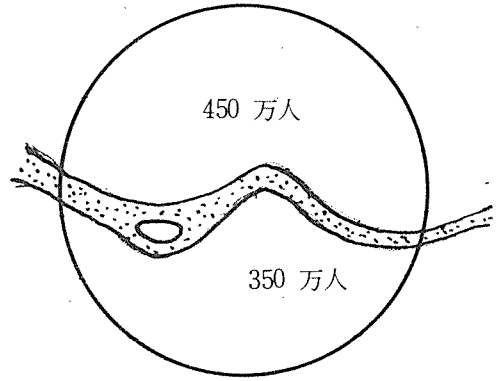
工業地域——公害防止——工場의 集約配置

漢江下流部 優先立地

漢江上流部 工場立地留保(將來 無公害 工場配置)

商業地域

- 都心部 再開發  
土地利用提高・高層化로 오픈·스페이스 大量 確保



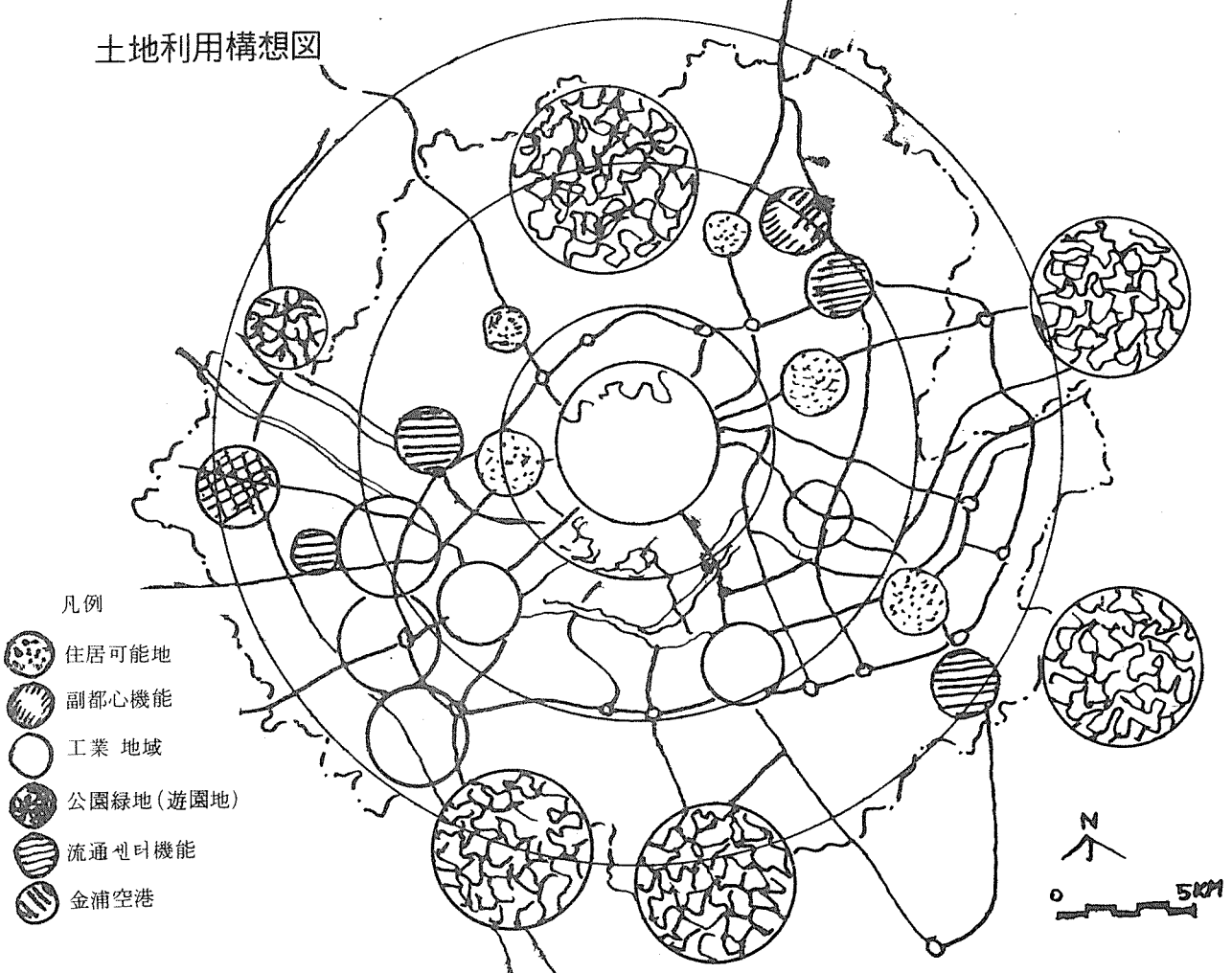
住居可能面積	52 %	48 %
人口配分	450 万人	350 万人

- 多核副都心編成  
都市機能의 再編成(業務・流通機能分散)
- 流通基地計劃  
外廓鐵道環狀線上 3大駅(東서울(現 城東駅)  
南서울駅 西서울駅)에 大規模 流通센터를設置

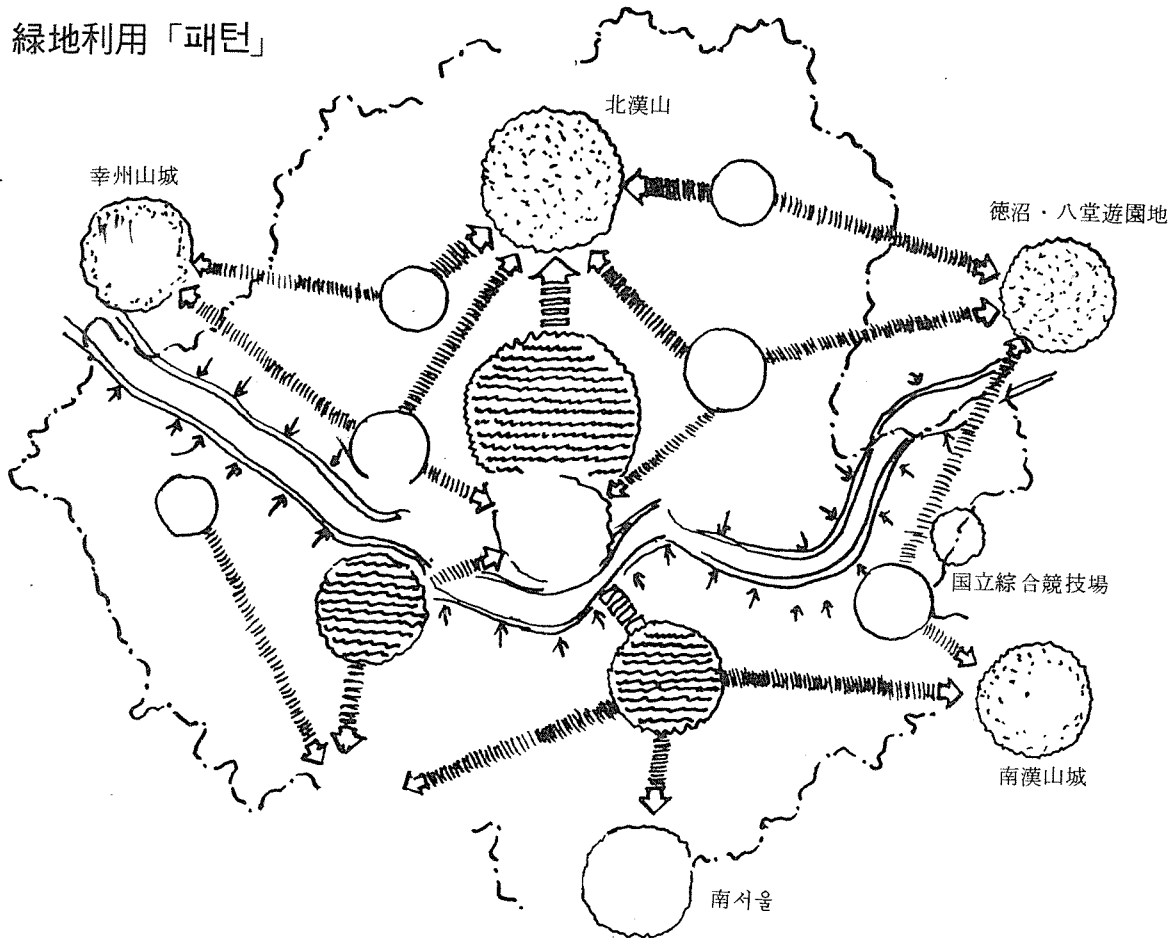
綠地空間의 擴充

- 市街地内 오픈·스페이스의 大量確保 및 體系化
- 漢江(兩岸)의 레크레이션 活動

土地利用構想圖



# 公園·綠地利用「패턴」



- 蚕室 綜合運動場 및 올림픽競技場 活用
- 南서울 大公園(動·植物園) 및 北漢山 自然公園의 整備 開發
- 龍山大公園의 将来計劃 考慮

- 第2 環狀(中間環狀) 線과 現 外廓環狀線을 複合시켜 中間環狀이 없는 單一外廓循環線을 形成
- 国土中心 首道서울의 自動車交通 流出入 主幹線路를 서울의 外廓循環線으로 一但 받아들여 目的方向의 交通흐름을 整理케함.

## 4. 交通體系構想

- (1) 都心을 向한 交通의 集中發生을 減少·制限하는 對策推進과 併行하여  
交通施設의 擴充으로 需要超過를 解消하는 方向模索
- (2) 都市交通體系를 構成하는 各要素間을 連結  
交通經路選擇의 判斷이 複雜하지 않도록 單純 明快한 路線計劃樹立
- (3) 交通體系의 一部分에 交通量의 過負荷狀態가 局部的으로 生기지 않도록 配慮
- (4) 既存의 公共空間을 高度利用 —— 多層構造(高架·地上·地下)의 交通施設 空間編成
  - 1) 主幹線街路의 再定立
    - (1) 外廓循環線의 再整備
      - 現 外廓環狀計劃의 缺陷을 補正  
現 計劃線은  
北西의 金浦—幸州山城經由 北北東의 北漢山을 通過하는 無理한 路線임

- (2) 内部循環線의 再整備
  - 内部循環線은 都心交通處理와 直接的으로 關聯됨
  - 서울의 内部循環線에는 25個의 幹線街路와 交叉
  - 現 内部環狀線은
    - ① 東西方向이 길고
    - ② 東大門〈文化財〉을 通過하는데 따른 高架 또는 地下路線開設에 隘路가 있음
  - 위 ②의 東大門 經由로 避하기 위해 東大門에서 東쪽 約 500 M 地點의 昌信洞 經由의 内

部循環線을 計劃.

한편 위 ①의 東西方向이 긴 缺陷의 補充은 三一路(內部循環線 中央南北方向) 連結하므로서 內部循環線은 東西方向의 中間에서 兩分하여 內部循環線의 機能을 提高시키게함.

獨立門 立体交叉 昌信洞 2.5 km 2.5 km 1.2 km  
 西大門 南大門 서울驛 서울市庁 在來內部環狀線 1.7 km  
 2 km 1.5 km 2.5 km 南山1号터널 東大門 1.2 km  
 簡易立体交叉路

東西가 긴 在來의 內部環狀線은 2個로 兩分計劃

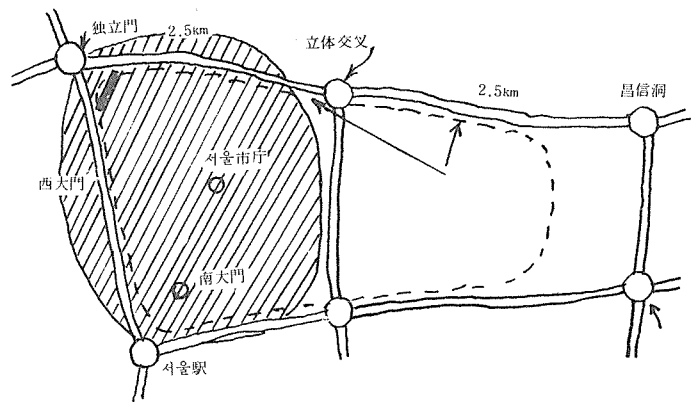
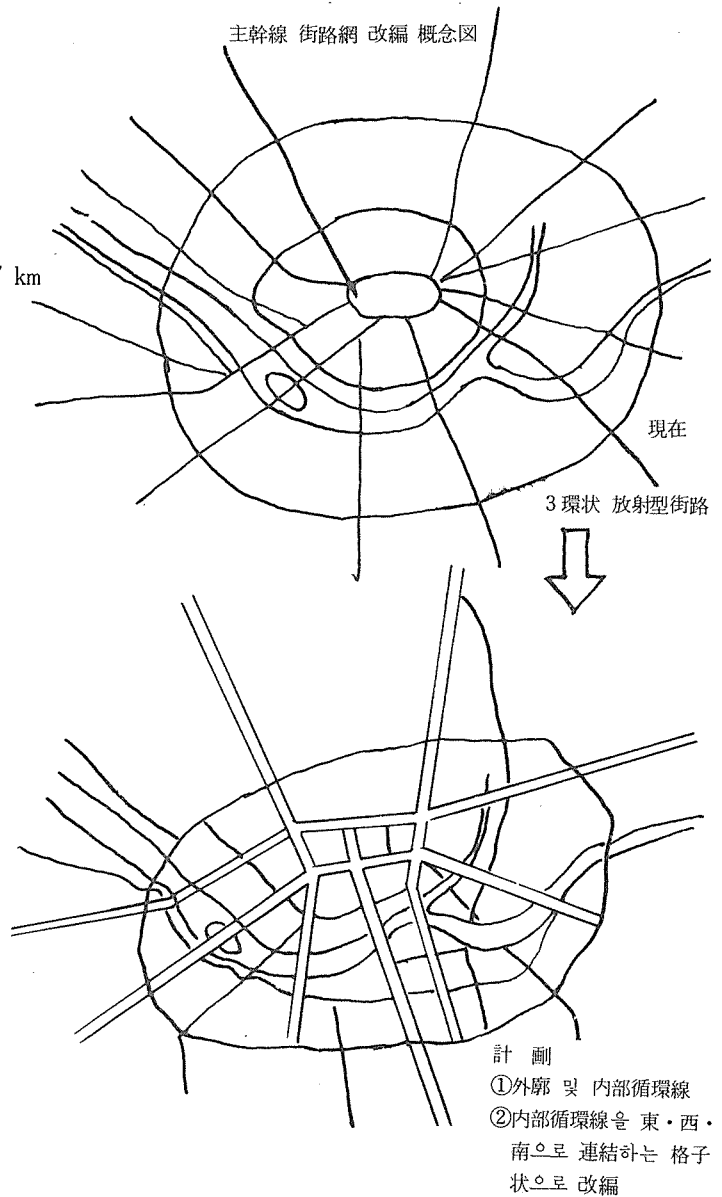
- 環狀線 機能提高
- 東大門 通過를 昌信洞으로 延長
- 〈參考〉 外國의 경우 內部環狀線

都 市 名	길이	幅	인터체인지수	
Detroit	2.1 km	4 km	2	
Philadelphia	3.4	1.4	5	
San francisco	3.4	1.4	5	
Wahinton	D·C·No1	4.0	3.5	6
	No2	2.9	2.1	4
Baltimore	2.3	1.9	5	

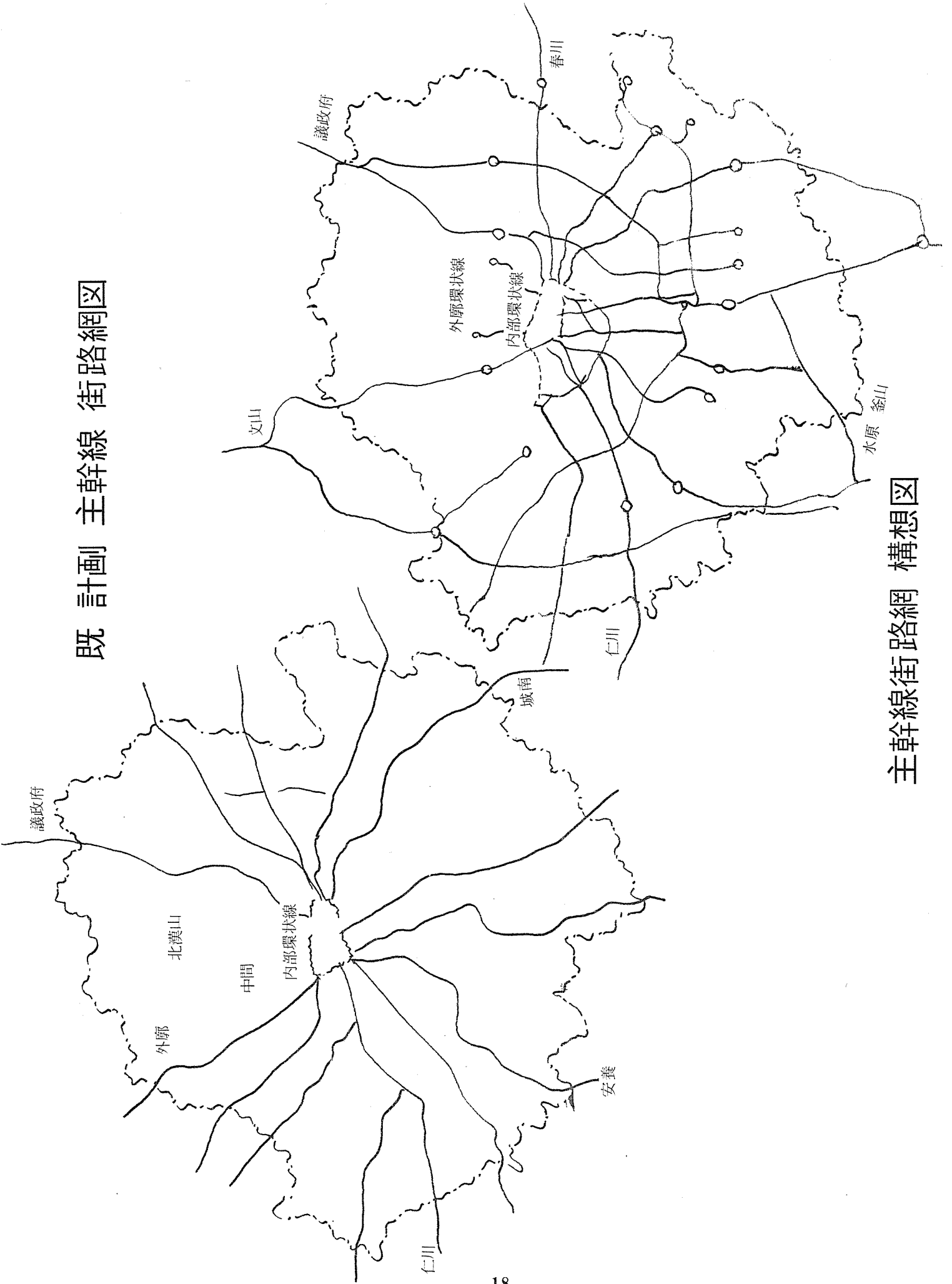
- 內部循環線의 高架 또는 地下線 構築
  - ① 清溪川 高架道路의 西大門에의 連結
  - ② 昌信洞에서 高大方向街路의 連結을 爲한 T-unnel 新設 新設
  - ③ 三一路線 高架道路를 北쪽 安國路 環狀線으로 連結
- 高架 또는 地下의 內部循環線과 主要街路와는 立体交叉路를 設置하여 交通循環을 圓滑 하게 함.

(4) 基幹街路의 再定立

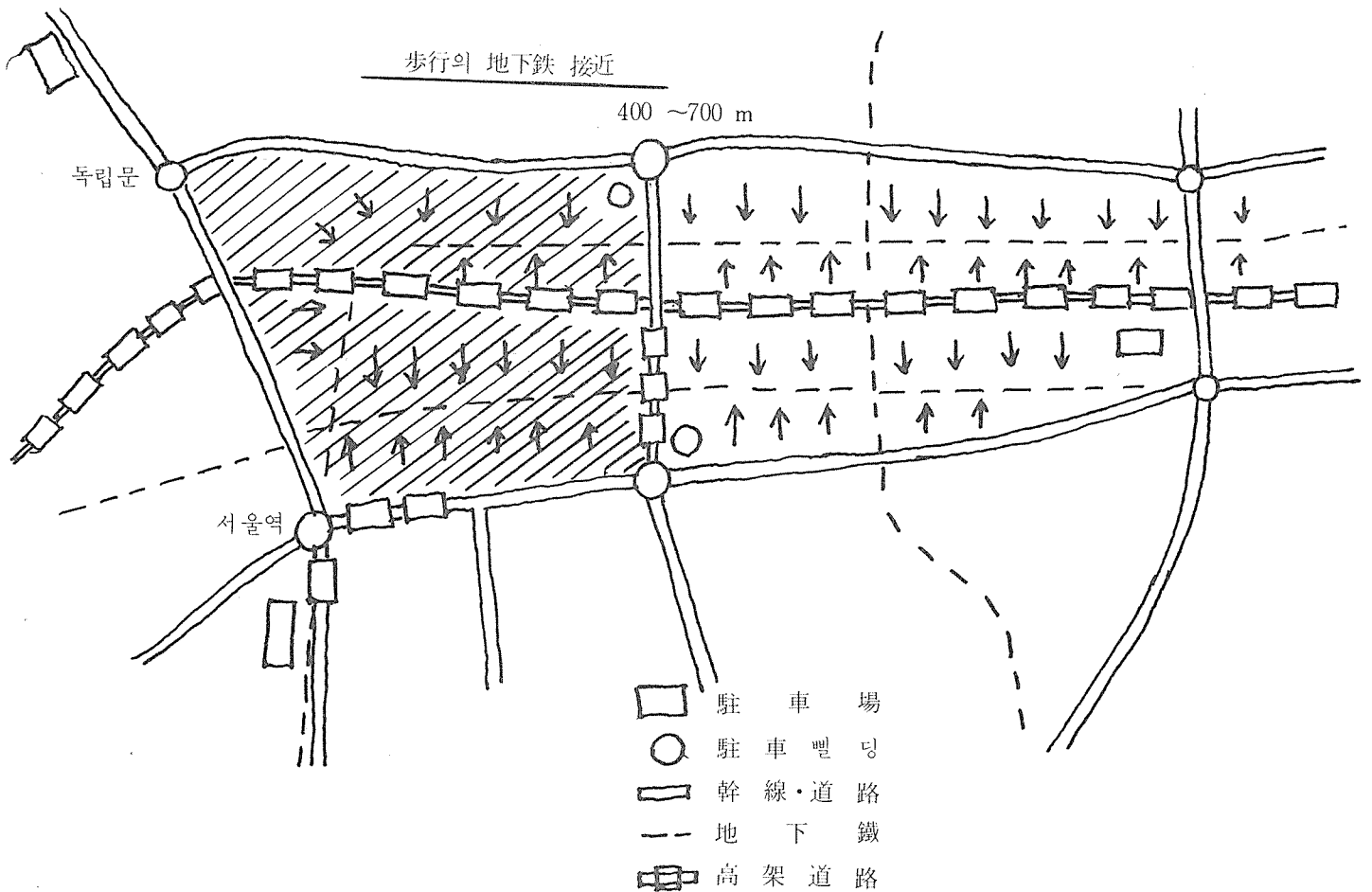
- 基幹街路는 都市機能의 再編成(多核副都心)과 外廓 및 內部 循環線의 計劃과 함께 다음과같이 基幹街路의 体系를 再定立 한다.
- 基幹街路의 幅員은 大路一類(幅35M)以上으로 하되 可能한 限 廣路로 함.
- 基幹街路의 性格은
  - ① 外部都市 및 地域에서 外廓循環線에 이르는 接近道路
  - ② 外部地域에서 都心部 및 副都心에의 接近道路
  - ③ 都必部와 各 副都心을 連結하는 道路 및
  - ④ 各 副都心을 連結하는 道路로서, 이들 街路의 系統을 体系化시켜 街路效率의 增進을 圖謀토록 함.



# 既計劃主幹線街路網圖



# 主幹線街路網構想圖



(5) 歩道空間確保 (拡充)

- ① 400 - 700 M 歩行으로 地下鉄 接近이 可能한 CB-D 内の 乗用車 進入禁止区域의 拡充
- ② 歩道幅의 擴張
- ③ 遊歩道 (Pedestrian Mall) 系統計劃 (高架 또는 地下)

将来計劃 議政府 (元山) 方面  
春川方面

(6) 버스綜合「터미널」및 駐車場

○ 버스 綜合「터미널」

将来 外廓環狀道路의 活用に 따라 各 方面의 버스 綜合「터미널」4 個所를 外廓環狀線의 附近에 設置 토록 立地를 構想함.

- ① 水原·釜山方面: 江原高速버스 綜合「터미널」 (既存 施設利用)
- ② 仁川 方面: 京-仁 高速道路入口
- ③ 文山 (開城) 方面: 西서울 (水色附近) <将来計劃>
- ④ 議政府 (元山) 方面: 水踰里附近 <将来計劃>

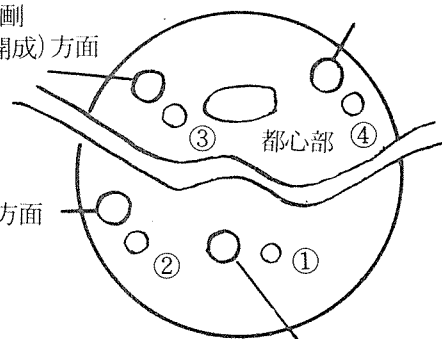
○ 駐車場

都心部로 接近하는 主要進入路와 交叉되는 内部環狀線의 結節点 附近 3 個所에 大規模의 駐車施設을 設置토록 構想함.

- ① 서울駅 附近
- ② 獨立門 附近 <西人門 矯導所>
- ③ 서울運動場

将来計劃

文山 (開成) 方面



仁川方面

水原·釜山方面

2) 鐵道 地下鉄

(1) 鐵道

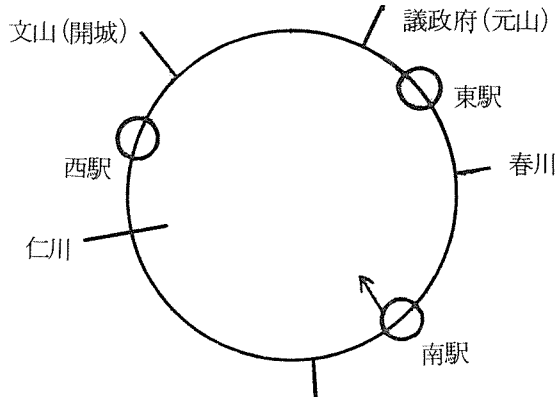
- 서울内部를 通過하는 鐵道線을 迂回시켜 外廓鐵道環狀으로 改編함.
- 外廓鐵道環狀線上에서
  - ① 東서울 (現 城東駅)
  - ② 南 서울
  - ③ 西서울의 3 大駅을 計劃함.

〈地下鉄 配置概念図〉

(2) 地下鉄

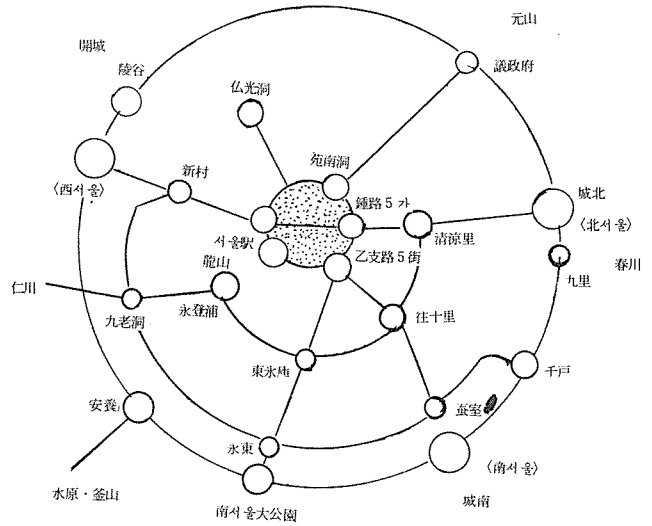
① 外廓鉄道環狀線에서 3 大駅에서 上の

- 都心部 → 各副都心
- 副都心 相互間
- 其他 主要 都市機能을 連結하는 地下鉄 系統을 編成함.



② 地下鉄網의 編成上 連結되어야 할 主要地点은 다음과 같다. (地下鉄 配置 概念図 参照)

- 永登浦·汝矣島 副都心
- 永東 副都心
- 蚕室 (城南)
- 新 村
- 清 涼 里
- 水 躡 里
- 仏 光 洞
- 西 西 爾 流通基地
- 城 南 流通基地
- 城 北 流通基地
- 北 漢 山 公 園
- 龍 山 大 公 園
- 昌 慶 苑
- 漢 江 辺



- 버스綜合 「터미널」
- 永登浦 工業地城

5. 副都心計劃構想

1) 永登浦·汝矣島 副都心計劃

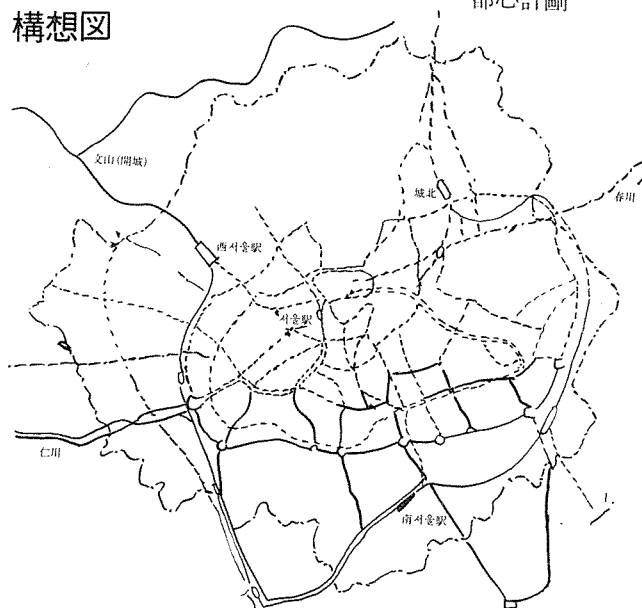
- 既存 永登浦 商業地城과 汝矣島 業務地區를 連結하여 一體化 시킴
- 汝矣島와 永登浦사이의 漢江支流를 埋立 하여(地下 下水道 函工施設) 商業地城과 公園·綠地를 造成함. (圖面 参照)

2) 永東副都心計劃

- ① 既存 버스綜合 「터미널」과
- ② 外廓環狀線의 「인터체인지」
- ③ 地下鉄計劃上의 結節點을 考慮하여 圖示하는 바와 같이 永東地區中心의 副都心을 形成

3) 蚕室·清涼里·新村·水躡里·仏光·禾谷의 各 副都心計劃

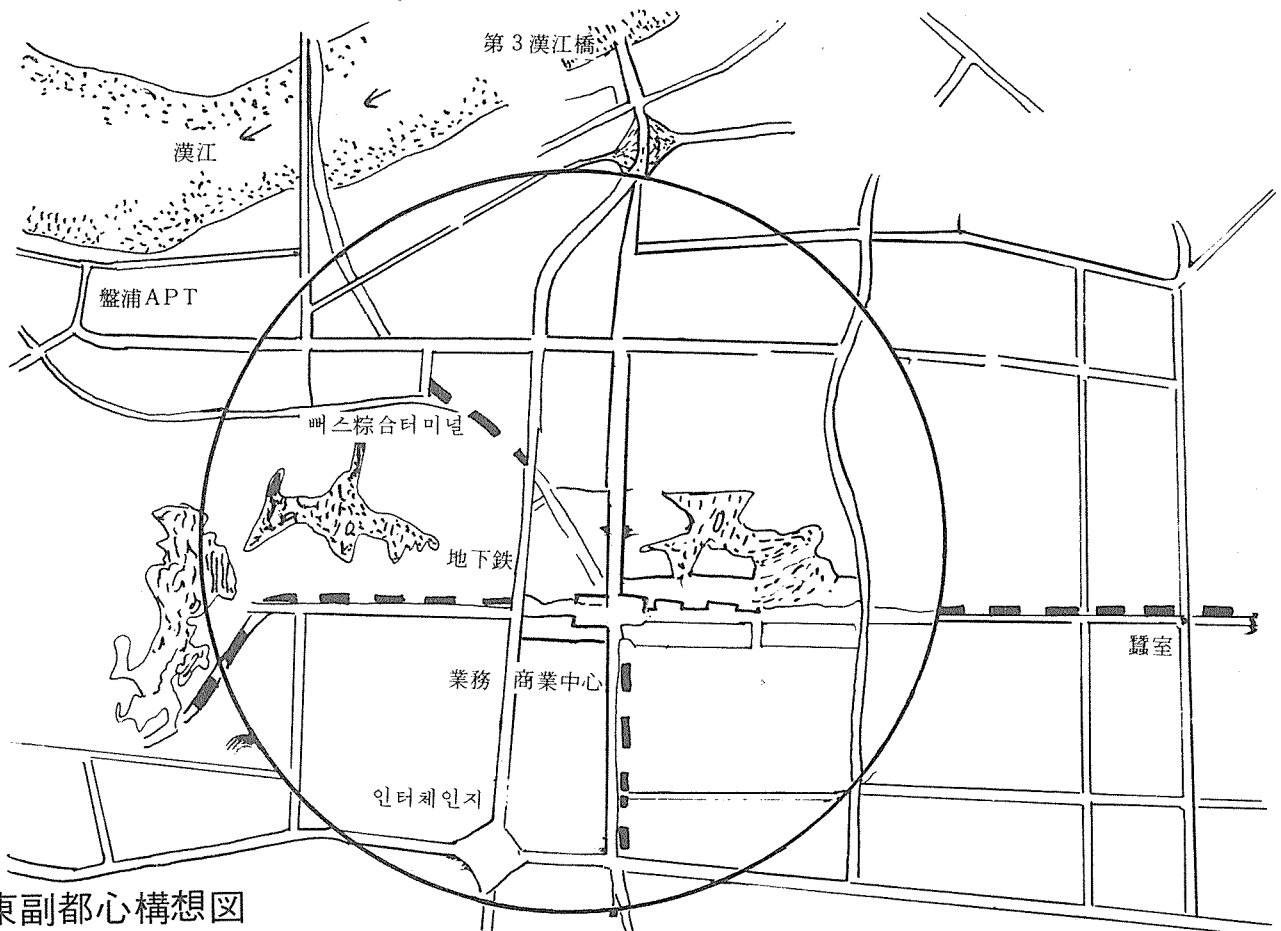
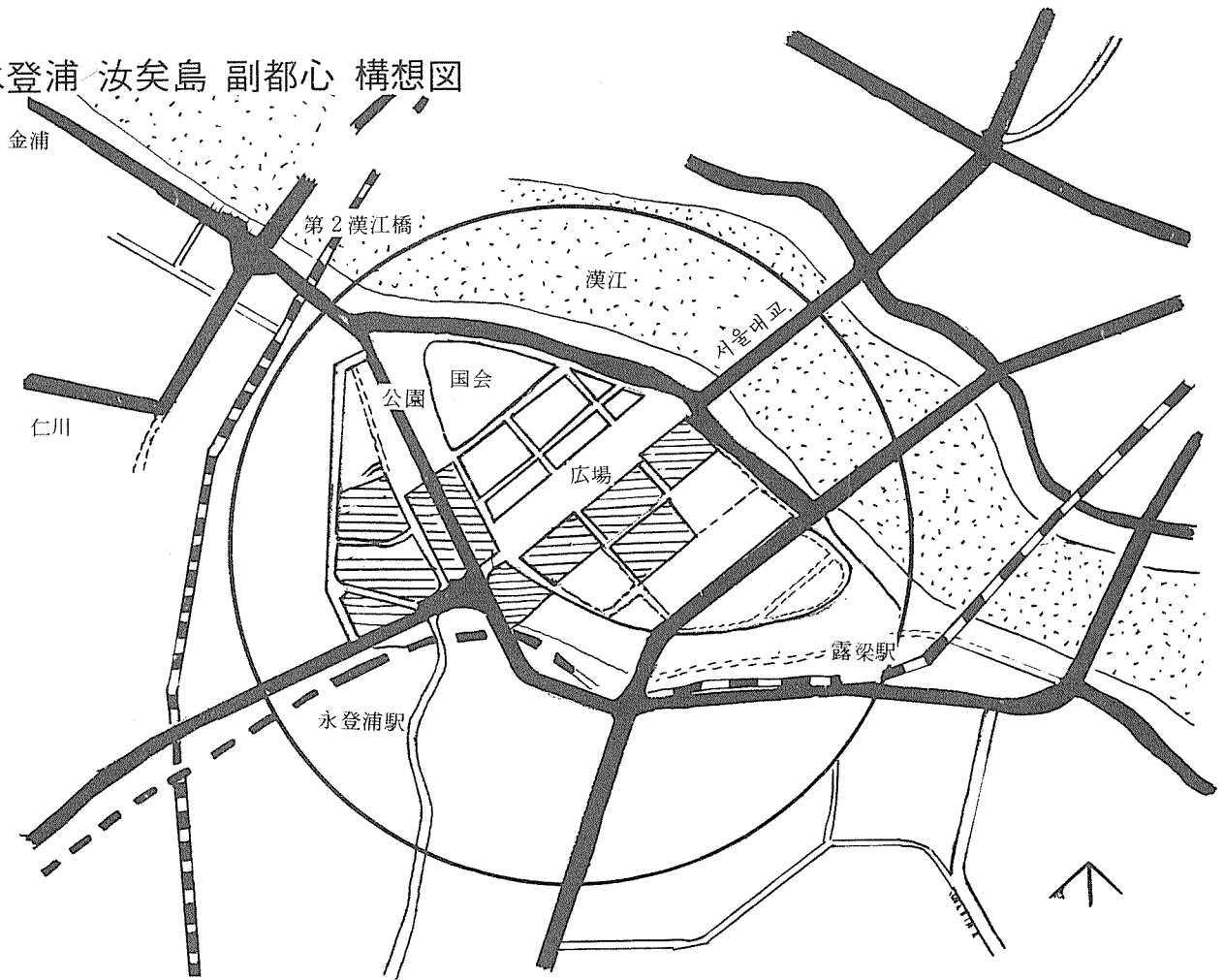
鐵道·地下鉄網 構想圖



鐵道·地下鉄網 構想圖



永登浦 汝矣島 副都心 構想図



永東副都心構想図